

令和2年度 事業報告

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によりまして、市民生活や地域経済に大きな影響を受けた年でありました。当センターにおきましても、年度当初より契約額の減少が顕著にみられ、様々な事業についても、規模の縮小や開催の中止などの制約を受けました。また、会員数に大きく関係する入会説明会参加者数も前年度対比 35%減の 48 名と厳しい状況となりました。こうしたことに加え、今年4月1日施行の「高齢者雇用安定法」の改正により70歳までの就業確保が努力義務となるなど、会員100万人達成計画の取り組みにも影響が出るのが考えられます。このようなことから、会員の平均年齢が高まる傾向にあり、仕事はあるものの対応できる会員の確保が難しい状況となり、今後のシルバー人材センターの事業運営に影響がでることが懸念されています。

こうしたシルバー人材センターを取り巻く環境の変化が見られる中、本年度は派遣業務への移行も増えたこともあって、請負・委任等の契約額は210,727千円、前年対比73.6%と減額となりました。また、会員数については、前述しました理由等も影響し、入会者が49名、退会者が63名となり、前年度末と比べ14名減の531名となりました。

こうした状況の中、令和2年度もこれまでの安全就業、就業態勢の強化、就業機会の開拓・拡大と共に福祉・家事援助サービス、子育て支援、介護保険サービスの推進を図り、活力ある地域づくりに貢献しました。

次に主な事業について報告します。

- ▶ 就業会員の増強、就業機会の開拓・拡大と就業率の向上に努める。
 - ✓ 会員の口コミ、市広報（9月）、会報（新年号）、ホームページ、マスメディア（1月）等を利用し会員増強を図りました。
 - ✓ 市役所及び企業等の窓口にて、普及啓発ちらしの設置依頼を行いました。
 - ✓ 特定業務に就業する会員の就業期間を廃止し、グループ就業やローテーション就業によりワークシェアリングを推進しました。
 - ✓ 毎月求人情報を提供し、就業機会の拡大を図りました。

- 普及啓発事業を推進する。
 - ✓ 会員相互の連携を深め、シルバー人材センターの普及啓発のための地域奉仕作業につきまして、年2回(7月、10月)計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。
 - ✓ 市社協主催の福祉イベントに参加し、当センターの事業PR及び会員の加入促進を目的とした県下一斉普及啓発Day(10月17日)の開催につきまして、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。
 - ✓ 市民及び会員を対象に4職種の参加型講習会を開催し、シルバーセンター事業の理解を深めました。
 - ✓ 交通安全早朝一斉街頭広報(年4回中1回実施、3回中止)に参加しました。
 - ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」の発行及び市カレンダー、ホームページ、配分金通知を活用し、会員及び市民への情報提供に努めました。
- 会員の就業意識、技能の習得を図る。
 - ✓ 会員の技能習得を目的に「福祉有償運送運転講習」「剪定講習会」「刈払機講習会」「接遇講習会」を計6日開催し、39名が受講しました。
- 安全就業対策と健康管理に努める。
 - ✓ 大仁清掃センターにおいて、7月から年度末にかけて「車両事故撲滅キャンペーン」を展開し、毎月1回の安全運転講習等を中心とした注意喚起を行い、車両事故発生を抑制を図りました。
 - ✓ 就業前の「KYチェックシート」の活用を図り、安全意識の高揚を図りました。
 - ✓ 県シ連の巡回訪問を兼ねた安全就業委員会の抜打ち安全パトロールを10月に実施し、会員の事故防止に向けた取組を行いました。
 - ✓ 会員に対し、市の健康診断受診を推進しました。
- 福祉・家事援助サービスを推進する。
 - ✓ 女性会員の加入促進を図るために「介護生活支援・介護予防」や「子育て支援」に関する技能講習会を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止といたしました。
- 財政基盤の強化と事務局機能の効率化を推進する。
 - ✓ 就業機会の開拓・拡大を行い、受託収益の増加に努めました。
 - ✓ 職員会議を開催し、歳出抑制や事務の効率化に向けた協議を行い、経常経費等の削減に努めました。